

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.09-018

PDCA	事務事業名	津波避難誘導サイン設置事業	部課等名	総務部 防災交通課 防災減災担当	担当 内線等	鶴飼 288	
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第1節 安全・安心な社会の形成					
		基本施策： 1. 防災対策					
		単位施策： (1) 災害時に備えた施設整備・対策の推進					
根拠法令等	個別施策： ④風水害等への対策の強化						
対象・目的	大規模地震時における円滑な避難を促すため、避難の方向等を示す津波避難誘導サインを津波避難路上に設置する。						
目的を達成するための手段・活動内容	「半田市津波・高潮避難計画」で指定した津波避難経路へ適正に配置する。						
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①津波避難誘導サイン設置		43	37	38	箇所
		②					
		③					
		事業費		4,536	4,320	4,374	千円
		人件費		1,906	1,904	1,874	千円
		総事業費		6,442	6,224	6,248	千円
	活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
	①津波避難誘導サイン設置1箇所あたりコスト		150	168	164	千円	
	②						
	③						
	成果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①津波避難誘導サイン整備進捗率	実績値	36	71	100	%
目標値			36	71	100		
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	<b>B</b>					
		県補助金を活用し、平成30年度は4路線に津波避難誘導サインを設置し、全ての計画路線の整備を完了した。					
	<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<b>終了</b>				
			防災訓練や出前講座などの機会を利用して住民に広く周知し、避難行動を促すとともに防災意識の啓発を図る。				
		令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位
			廃止				